

10月27日 日吉町文化祭に

29名の生徒と吹奏楽部が参加

夏まつりに続き、文化祭でも中学生の力が必要とされています。今年度の文化祭は日吉町からスタートです。



吹奏楽部のオープニングから文化祭が始まりました。

通して元気や喜びを届ける北中吹奏楽部の文化だと言えるでしょう。

二日間で29名の生徒がボランティアとして参加しました。芸能の部の司会進行、バザーの手伝い、風船飛ばし準備、合唱参加など、活躍の場がたくさんありました。

それぞれの持ち場や役割で一生懸命取り組むことはもちろん、フォークダンスや「ふるさと日



吉の歌（旧日吉中校歌）」の合唱などに、積極的に参加する北中生の姿がありました。文化祭を運営する貴重な戦力としての役割だけではなく、文化祭を盛り上げる地元の若者としての役割も見事に果たしました。

後日、日吉公民館長の安藤徳善氏が来校し、全校放送を通して、北中生のボランティアに対して感謝の言葉を伝えてくださいました。「中学校が統合し、瑞浪北中学校ができた時、私たち町民が心配したことは、今回のボランティアの活躍で吹っ飛びました。」

これからも地域を大切にする瑞浪北中でありたいものです。

吹奏楽部のオープニング演奏から文化祭が始まり、多くの町民の皆さんが演奏に耳を傾けました。会を盛り上げるだけではなく、日ごろ吹奏楽に触れることができない方にとっては、大きな楽しみの一つです。これも、地域の方々に音楽を



